

令和4年度 第2回木更津市文化財保護審議会 審議録

1. 会議名 令和4年度 第2回木更津市文化財保護審議会
2. 開催日時 令和4年12月9日（金）～23日（金）
3. 開催方法 書面審議
4. 出席者 文化財保護審議会委員 5名
古泉忠之（会長）、高崎芳美（副会長）、笹生 衛、御巫由紀、黒田加奈子
5. 報告事項
 - 第1号 指定文化財の保護・活用について
 - 第2号 金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業について
 - 第3号 県指定史跡 金鈴塚古墳整備工事の進捗について
 - 第4号 指定文化財の現状変更等について
 - 第5号 「中越遺跡出土小銅鐸」の市指定文化財の指定について

審議結果報告

報告事項

第1号 指定文化財の保護・活用について

古泉委員

木更津が江戸時代から経済的に豊かであったことが、よくわかる説明文ですね。
富士見厳島神社の周知について、少々足りないように思えるのですが。

高崎委員

訪れた方々に利用しやすく、とても良いと思います。

笹生委員

細かな点ですが、以下の2点について日本文と英文等で、食い違いなどがあるように思います。

英文では「side by side」とあるので、これに対応する部分では「厳島神社には伊八の彫刻3点があります」ではなく、「厳島神社には伊八の彫刻3点が並んで掲げられています」のようにしたほうが、次の説明と連続しやすいように思います。

英文「The vicinity of Kisarazu」の直訳は「木更津の周辺」となりますが、日本文では「木更津」だけとなっています。中分も「木更津周辺地区」となっており、英文と同様で日本文とは異なります。経済的に栄えたのが「木更津」なのか「木更津周辺」なのか、統一した方が良いように感じました。

御巫委員

QRコードの貼付、素晴らしいと思います。英文2段落目の「～can be attributed to Ihachi I, based on the inscription on the reverse side and the style of the work,

circa 1795-1800.」の部分ですが、「Ihachi I」についての説明は、どこかに記されているのでしょうか？

もし無ければ、1行目のところを「Takeshi Ihachiro Nobuyoshi, born in 1751 in the Edo Period～」とするのはいかがでしょうか？

中文、韓文もご検討お願いします。

黒田委員

「波を彫ったら天下一」というフレーズは、同時代に行なわれた伊八への評価として伝える文字史料などがあるのでしょうか。学術的な評価としては感覚的すぎ、出典があるのであれば、「・・・によれば」など根拠を示して頂けると、より説得力を増した解説になると思いました。

事務局説明

「波を彫ったら天下一」という文言については、伊八の地元である鴨川市の担当課にも確認いたしましたが、出典はなく戦後、伊八の知名度が上がり、その頃より広まった文言ではないかということです。また、解説文の内容については、ご指摘を踏まえ修正を行い対応いたします。

第2号 金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業について

古泉委員

アンケートの実施、集計は、大きな成果があったと思います。授業を通して多くの子どもたちが金鈴塚古墳を知り、木更津の宝を認識できて良かったと思います。歴史学習は通史が主で、地域史についてふれないと子どもたちは、なかなか興味を示さないのではないのでしょうか。

金鈴塚古墳について指導者がおどろきの目で取組み指導することが大切で、子どもだけではなく指導者への意識づけが重要なように思いました。

学校と連携して継続的に活動することを期待します。そして古代の歴史ロマンに思いを馳せる子どもたちが増えることを期待します。

高崎委員

アンケートの集計結果、なかなか興味深いものでした。「木更津に古墳があることを初めて知りました。」との記述には少々、びっくりしました。

笹生委員

大変に良い試みだと思いました。今後、金鈴塚古墳出土品に限らず、活用したい文化財（基本的には指定文化財）について、または義務教育現場からの文化財活用方法について小・中学校の先生方にアンケートをとり、教育現場との結び付きを強められると良いのではないかと考えました。

御巫委員

古墳時代について、このように貴重な例が市内にあり、その楽しい教材で学習できる、木更津市の小学校は恵まれていると感じました。このアンケート結果を教員

の皆様と共有することで、ますます活用が進むと思います。

黒田委員

学習の進度に合わせて、効果的に活用されない学校があることが、非常にもったいなく思いました。今回のデータをもとに配布時期を検討する、あるいは具体的な活用例を複数提案する（他校の活用例を共有する）などが必要なのではないかと思います。

事務局説明

アンケートの内容について検討するなど、対応いたします。資料の配布時期については、郷土の歴史を学ぶ授業で使用可能な副教材として作成し、5月の連休前に配布することで各学校の授業の進捗に対応できるようにしております。

第3号 県指定史跡 金鈴塚古墳整備工事の進捗について

古泉委員

境界フェンスができてすっきりして良かったですね。住宅地の中に突然と現れるので、案内板に加えて金鈴塚古墳の存在を知らせる表示板のようなものがあれば良いと思いました。春になると墳丘に草木が茂り気になります。石室の入口部に風雨から守る屋根のようなもの、保護工事は計画されているのでしょうか。

高崎委員

先月現地を確認しました。石積みの補強工事が完了すれば、墳丘に上っても大丈夫なようになるのでしょうか。

笹生委員

金鈴塚古墳の整備工事自体には特に異議はありません。ただし、今後の金鈴塚古墳を含む長須賀古墳群全体の周知や整備を、木更津市としてはどのように考えているのか、この点、今後、具体的に検討していただければと考えます。

同古墳群は、内裏塚古墳群とともに南関東では重要な古墳群です。現状に残されている墳丘の保全だけでなく、墳丘は失われても周溝が残っている古墳はありますので、もし、市街地再開発の計画があれば、周溝のみの古墳の周知・整備も視野に入れて検討していただきたいと思えます。

黒田委員

今後の工事も安全に行われることを願っております。

事務局説明

金鈴塚古墳では、墳丘の草刈りを年3回（6月下旬・8月上旬・12月下旬）に行っています。今年度は、墳丘南側の空き地（約115㎡）を古墳来訪者のための駐車場用地として年度内取得を目指し、現在事務手続きを進めております。また、石室石積の崩落防止工事を実施しており、完成後も墳丘の保護の観点から、墳丘に上ることはできませんが、石室入口での見学が可能となります。令和5年度には、引き続き石室・石棺の保護と駐車場への関連工事を実施する予定でおります。

現在、金鈴塚古墳を含む南北約 600m、東西約 220mの範囲を周知の埋蔵文化財包蔵地「浜長須賀古墳群」としており、範囲内では、個人住宅建設などの小規模開発にも対応しております。また、「浜長須賀古墳群」に限らず、毎年秋に各課へ事前照会を行い、必要に応じ発掘調査を実施しております。今後も遺漏の無いように対応いたします。

第4号 指定文化財の現状変更等について

高崎委員

「天正検地帳」は高校日本史の授業（太閤検地）で史料（教材）として利用価値がとても高いと思います。

黒田委員

指定文化財が活発に活用されていること、うれしく思います。「天正検地帳」が博物館展示の中で活用されることを期待します。

事務局説明

「天正検地帳」については、デジタルアーカイブでの公開を前提としており、現資料については、文化財保護の見地から常設展示の予定はありません。「天正検地帳」の重要性については、高校生に限らず、周知を進めていきたいと考えております。

第5号「中越遺跡出土小銅鐸」の市指定文化財の指定について

高崎委員

西上総（市原・袖ヶ浦・木更津・君津）で、このような希少な遺物が出土しているので、博物館での展示の解説、説明で、地図（出土地点を明示したもの）を添えていただけると良いと思います。

黒田委員

『広報きさらづ』では、金のすずで展示されていることも共に知らせて頂けたのでしょうか。同時に広報して頂けると関心が高まったと思います。

事務局説明

展示方法についてのご指摘については、博物館に伝達いたします。広報の掲載時には、他館へ貸し出し中のため、博物館での展示については、掲載いたしませんでした。

上記、令和4年度第2回木更津市文化財保護審議会の書面による審議について、確認したことを報告します。

令和5年2月6日

審議録署名人 木更津市文化財保護審議会

会長 古 泉 忠 之 印